

クラス番号	630	担当教員名	角崎洋平
テーマ	公共政策の目的を問い直し、福祉社会のあるべき姿について考える		
著書・論文 研究課題等	著書：『正義（福祉＋αシリーズ）』（共著）ミネルヴァ書房、2016年。 ：『マイクロクレジットは金融格差を是正できるか』（共著）ミネルヴァ書房、2016年 論文：「社会保障システムにおける食料保障——フードバンク事業の社会政策的側面での意義と可能性についての考察」貧困研究 18号, pp.82-95, 2017年。 研究課題：①責任概念を適切に織り込んだ平等主義的正義論の構築 ②生活困窮者等を対象とした家計相談支援、金融包摂、資産ベース福祉の在り方		

ゼミナール概要

キーワード：公共政策・社会政策・経済政策・社会保障・財政・政策過程・政策評価・政策規範・社会正義

目的・内容・方法

わたしたちのまわりには、たくさんの公共政策（社会政策・経済政策・秩序政策・外交政策）が存在します。そうした公共政策は、何を目的に実施されているのでしょうか。その目的は達成されているのでしょうか。そしてそもそもその目的は、わたしたちが望ましいと考える目的なのでしょうか。本ゼミでは、公共政策の目的に深く迫ることで、福祉社会のあるべき姿について考察していきます。

参加するゼミ生のみなさんには、公共政策の目的に迫る下記の三つの研究方法を学んでもらい、政策を評価したり批判したり、ときには構想したりする力を身に付けてもらいたいと考えています。

（１）政策過程研究——その政策は何を目的とした政策なのか？

特定の社会政策や経済政策が、なぜ「誕生」し「存在」してきたのか、またはなぜ「存在してこなかったのか」を資料等に基づき明らかにし、政策の目的と、政策をめぐる社会的・政治的背景を考察します。

（２）政策評価研究——その政策の目的は達成されているか？

特定の社会政策や経済政策の目的を確認したうえで、その目的が効果的に達成されているか否か、達成されてないとすれば何が障壁か、を調査や統計データを分析することによって明らかにします。

（３）政策規範論（社会正義論）研究——その政策の目的はそもそも妥当か？

公共政策の目的を社会正義の観点から問い直し、そうした問い直しを踏まえて、福祉社会にとって望ましい社会政策や経済政策、そして、政治・経済・財政システムの在り方について考えます。

この三つの方法を使って具体的に上げるテーマについては、参加するゼミ生の関心に応じて決めます。

いまのところ（１）（２）については、各政権や各地域で実施された政策（たとえば、生活困窮者自立支援、子育て支援、DV被害者支援、教育政策、フードバンク等の食料支援、公共事業、中小企業政策、「アベノミクス」など）などを、テーマとして考えています。（３）については、福祉国家論、社会保障財政における給付と負担（税）のバランス、貧困・疾病と自己責任、世代間衡平、市場メカニズムの限界などをテーマとして考えています。

ゼミ生は最終的には、三つの研究方法のうち一つ以上の方法に則って、上記のような具体的テーマのうち一つを扱った卒業論文を執筆してもらいます（もちろん上記以外のテーマでも構いません）。

授業計画

3年生前期：文献（論文や書籍）を輪読し、三つの研究方法についての基本を学ぶ。

3年生後期：各自の関心ある研究テーマを報告し、具体的な卒業論文の課題と研究方法を明確にする

→3年末には、各自の4年次の就職活動や各種試験のスケジュールを盛り込んだ、卒業論文計画書を作成。

4年生：各自の論文執筆が卒業論文計画書のとおりに進んでいるかどうかを随時報告し、計画的に卒業論文を完成させる。要望があれば各種試験に関係するような近年の経済財政動向についての勉強会も実施。

担当教員からのメッセージ



4月より着任予定です。よろしくお願いします。一緒に学びあい、「勉強・研究は大変だったけど楽しかった」と思える二年間にしていきたいと思います。政策研究は難しく感じるかもしれませんが過度に心配することはありません。基礎からしっかりと学んでいく予定です。

エントリーシートには、①関心のある社会問題・政策課題、②その問題・課題に関心のある理由、③現時点での進路希望（未定も可）も記載してください。将来公共政策に何らかの形で携わりたいと考えている学生（公務員（行政職・福祉職）志望の学生を含む）や「そもそも福祉社会って具体的にはどんな社会だ？」と思っている学生もお待ちしております。